

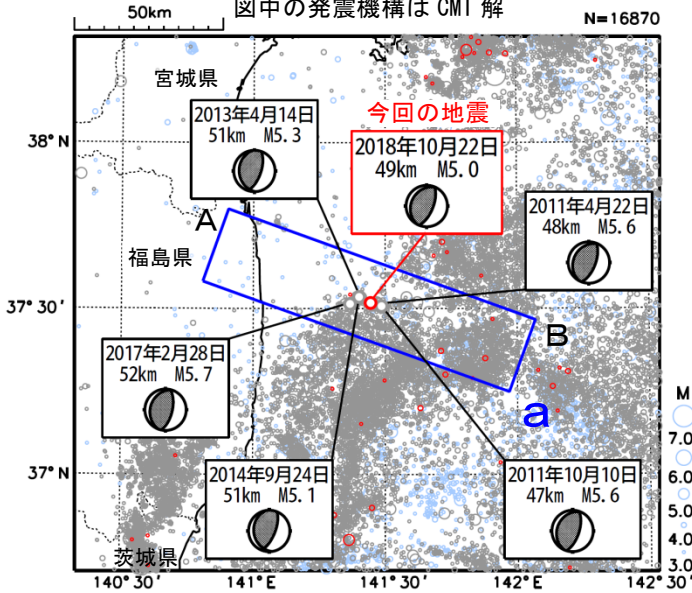
10月22日 福島県沖の地震

震央分布図

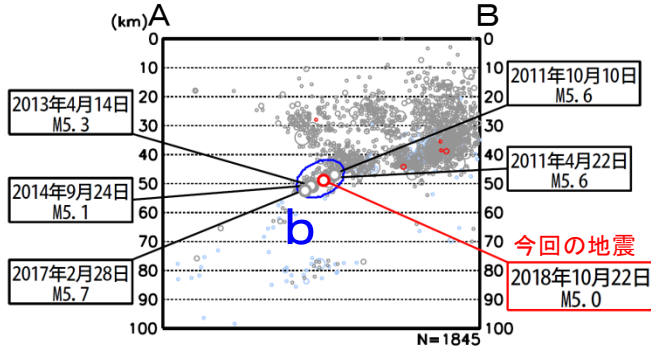
(1997年10月1日~2018年10月31日、
深さ0~100km、 $M \geq 3.0$)

東北地方太平洋沖地震発生以前に発生した地震を○、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を○、
2018年10月に発生した地震を○で表示

図中の発震機構はCMT解



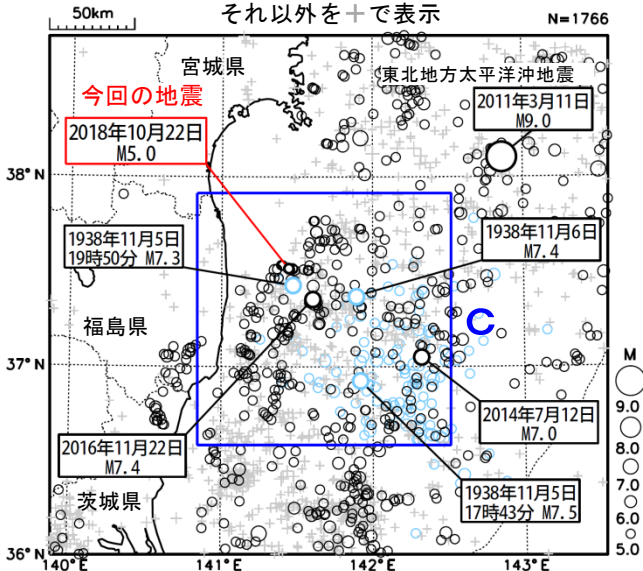
領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1923年1月1日~2018年10月31日、
深さ0~100km、 $M \geq 5.0$)

1938年11月1日~11月30日に発生した地震を○、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を○、
それ以外を+で表示

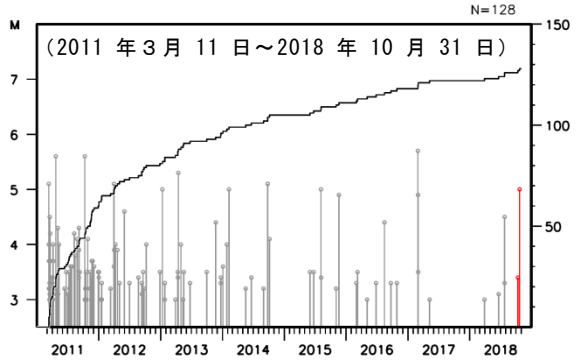
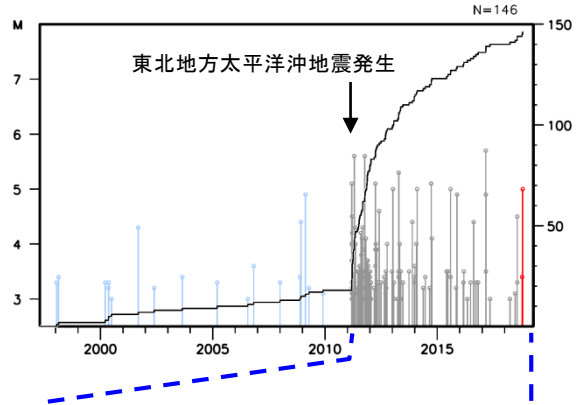


2018年10月22日19時47分に福島県沖の深さ49kmでM5.0の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震 (以下、東北地方太平洋沖地震)」の発生以降、地震活動が活発化し、M5.0以上の地震が12回発生している。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1938年11月5日17時43分にM7.5の地震が発生した。この地震により、宮城県花淵で113cm (全振幅) の津波が観測された。この地震の発生後、地震活動が活発となり、同年11月30日までにM6.0以上の地震が24回発生していた。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

